

女性の視線で基地と軍隊を考える——「軍隊／基地と女性」国際シンポジウムへ

七尾寿子

沖縄から北海道への米軍の訓練移転は沖縄の負担軽減ではなく軍事再編でした。沖縄の基地移転が計画されているグアムではどのような影響があるのか、米軍基地の再編が進む韓国の状況はどうか？ 基地や軍隊の存在に生活を脅かされ、撤退を求めて闘っている人々はどんな未来を描いているのか？ たとえばグアムでは基地と観光に経済基盤を依存せざるを得ない中で、先住民族チャモロとしてのアイデンティティーに根ざし、自立した経済を目指そうと、女性たちが中心になって進める活動がありました。

また、北海道の自衛隊基地で起きた上官による性暴力そして退職強要などパワーハラスメントを、現職のまま訴えた女性自衛官の裁判は、わたしたちに軍隊の中にある兵士の人権にも目を向けさせました。軍隊の組織に民主主義はあるのか？ 軍隊で女性の人権はどう保護されるのか？ 市民の声は届くのか？ と鋭く問われているのです。

札幌では、今、G8サミットに対抗して、市民の側が多くイベントを組んだり、市民メディアセンターや国際交流インフォセンター、国際交流キャンプの設営に向けて動いています。七月五日には世界からやって来る人々と一万人の市民ピースウォーク「チャレンジ・ザ・G8サミットわたしたちの世界をつくろう」をしよう企画し中。

札幌に日本中、そして世界からも多くの人が集まるこの機会に、北海道から軍隊・基地の問題を考え、しかも基地のある地域の人々の生活に及ぼす問題、軍隊・基地の内外にいる人々、とりわけ女性の視点で討論を深め交流する中から、軍事主義を許さない女たちのネットワークをぜひ広げたいです。

人々を守るはずの軍隊や基地がなぜ、女性の性の尊厳を踏みにじるのか？ そして逆に脅かされる女性の人権から見えてくる軍隊、基地の脅威の実態について、じっくり考え話しあう機会として以下のシンポジウムを企画しました。ぜひご参加下さい。

(ななおひさこ)

G8サミット市民フォーラム北海道協賛企画
「軍隊／基地と女性」国際シンポジウム

第1部は、各地、各国の基地を巡る状況に参加者が語りあって状況を共有。第2部は、パネリストに三人の女性を招き、軍隊、基地の存在を女性や子どもの人権の視点からじっくりと考えたいと思います。

☆高里鈴代さん(沖縄／基地・軍隊を許さない行動する女たちの会 共同代表)
☆高維京(コユギョン)さん(韓国／在韓米軍犯罪根絶運動本部 事務局長)
☆フアナイ・カストロさん(グアム／チャモロネイション)

■開催日時 二〇〇八年七月三日(木)

第1部 13:00～17:30 / 第2部 18:30～21:00

■会場 北海道クリスチャンセンター 2Fホール(札幌市北区北7西6)

■参加費 通し参加 二〇〇〇円(学生・海外からの参加者は、一〇〇〇円) 一部参加 一〇〇〇円(同、五〇〇円)

※関連書籍や飲み物、軽食販売のブースを予定しております。

■集会の賛同者も募っています。ぜひご協力下さい。

個人一〇一〇〇〇円／団体一〇二〇〇〇円

【郵便振替】口座番号：02790・7・62688

口座名義：ほっかいどうピースネット

*通信欄に「軍隊／基地と女性」と明記下さい。

主催：「軍隊／基地と女性」国際シンポジウム実行委員会

共同代表：清水和恵(日本キリスト教団新発寒教会牧師)

竹村泰子(札幌YMCA)

連絡先：札幌市中央区南1条西5丁目愛生館ビル ピースカフェ気付

ほっかいどうピースネット内

「軍隊／基地と女性」国際シンポジウム実行委員会

TEL/FAX 011・261・6883

または、080・1898・7037(七尾)

Eメール：nana-hisa@com.home.nip